

# 社会保障の集権化と動学的租税競争

田中宏樹\*\*

日高政浩\*\*\*

## Abstract

本稿では、Batina (2012) を拡張し、政府内で課税政策と賦課方式の年金政策が同時決定される状況下で、年金政策の中央政府への一元化（あるいは年金政策をめぐる地方政府間の協調）が、地方政府の資本税競争にどのような影響を及ぼしうるかについて、理論モデルをもとに解明する。

資本蓄積を考慮した同質多地域からなる世代重複モデルをもとに、年金財政の集権化が地方政府間の資本税競争に及ぼす影響を考察した結果、動学的効率下において、年金保険料の協調的な引き下げが、協調以前に実現していた均衡資本税率を引き上げる場合と引き下げる場合がある、いいかえれば、資本税競争を緩和させる可能性とともに、一層激化させる可能性の両方があることが明らかとなった。

Key words: tax competition, pay-as-you-go pension, public input, overlapping generations

JEL Classification Numbers: H55, H72, R53

---

\*\* 同志社大学政策学部 E-Mail [hitanaka@mail.doshisha.ac.jp](mailto:hitanaka@mail.doshisha.ac.jp) Web-Site <http://www.cam.hi-ho.ne.jp/thiroki/>

\*\*\* 大阪学院大学経済学部 E-Mail [mhidaka@ogu.ac.jp](mailto:mhidaka@ogu.ac.jp)